

令和5年度児童・生徒体力・運動能力等調査の結果について

報告内容

令和5年度児童・生徒体力・運動能力等調査の結果について報告します。

1 調査概要

- (1) 実施期間 令和5年6月中旬から下旬
 (2) 対象 小学校5年生及び中学校2年生
 (3) 内容
 ① 小学校5年生
 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・
 20mシャトルラン・50m走・立ち幅とび・ソフトボール投げ
 ② 中学校2年生
 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・(持久走)・
 20mシャトルラン・50m走・立ち幅とび・ハンドボール投げ
 ※持久走については、選択可能としている。

2 調査結果 青字…国・都平均を上回っている 赤字…国・都平均を下回っている

種目ごとの単位は、握力(kg)、上体起こし(回)、長座体前屈(cm)、反復横とび(点)、持久走(秒)、20mシャトルラン(回)、50m走(秒)、立ち幅とび(cm)、ソフトボール・ハンドボール投げ(m)で示しております。なお、数値については、小数点第2位を四捨五入して表記しております。

(1) 小学校5年生

① 男子

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
港区平均	16.7	20.2	33.7	43.0	48.6	9.1	155.6	20.8	55.0
都平均	16.2	19.3	34.2	40.8	45.7	9.3	151.6	19.8	53.1
国平均	16.1	19.0	34.0	40.6	46.9	9.5	151.2	20.5	52.6

- ・体力合計点では、国平均に比べ2.4ポイント高く、都平均に比べ1.9ポイント高い。19校中13校が国・都平均を上回っている。
- ・長座体前屈では、国平均に比べ0.3ポイント低く、都平均に比べ0.5ポイント低い。

② 女子

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
港区平均	16.1	18.7	39.0	40.2	34.4	9.5	147.4	12.0	55.1
都平均	16.0	18.5	38.9	39.0	34.7	9.6	144.7	12.4	54.5
国平均	16.0	18.1	38.5	38.7	36.8	9.7	144.3	13.2	54.3

- ・体力合計点では、国平均に比べ0.8ポイント高く、都平均に比べ0.6ポイント高い。19校中11校が国・都平均を上回っている。
- ・20mシャトルランでは、国平均に比べ2.4ポイント低く、都平均に比べ0.3ポイント低い。
- ・ソフトボール投げでは、国平均に比べ1.2ポイント低く、都平均に比べ0.4ポイント低い。19校中12校が国・都平均を下回っている。

(2) 中学校2年生

① 男子

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
港区平均	30.0	26.0	44.9	53.6	405.5	74.4	7.9	201.3	19.3	42.1
都平均	28.9	25.9	43.2	51.9	397.5	77.9	7.9	198.3	20.4	40.9
国平均	29.0	25.7	44.0	51.2	409.9	77.8	8.0	197.0	20.3	41.2

- ・体力合計点では、国平均に比べ0.9ポイント高く、都平均に比べ1.2ポイント高い。10校中6校が国・都平均を上回っている。
- ・20mシャトルランでは、国平均に比べ3.4ポイント低く、都平均に比べ3.5ポイント低い。10校中7校が国・都平均を下回っている。
- ・ハンドボール投げでは、国平均に比べ1.0ポイント低く、都平均に比べ1.1ポイント低い。10校中9校が国・都平均を下回っている。

② 女子

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
港区平均	24.2	22.4	46.0	47.0	301.3	50.0	8.9	170.9	11.5	48.3
都平均	22.9	22.0	45.6	46.0	301.7	50.3	8.9	167.4	12.1	46.8
国平均	23.1	21.5	46.3	45.7	307.0	50.5	9.0	166.2	12.4	47.1

- ・体力合計点では、国平均に比べ1.2ポイント高く、都平均に比べ1.5ポイント高い。10校中5校が国・都平均を上回っている。
- ・20mシャトルランでは、国平均に比べ0.5ポイント低く、都平均に比べ0.3ポイント低い。
- ・ハンドボール投げでは、国平均に比べ0.9ポイント低く、都平均に比べ0.6ポイント低い。10校中7校が国・都平均を下回っている。

3 考察

子どもの体力・運動能力の低下が指摘される中、港区の小学校5年生男女、中学校2年生男女では、国・都の体力合計点の平均を上回っている。この結果から、ボルダリングウォールの活用、区連合行事等、港区学校教育推進計画の重点事業の取組の一つである「健康な体づくり」を推進してきた成果が伺える。

一方で、令和5年度の調査では、20mシャトルラン及びボール投げが国・都平均に比べ低い傾向にある。各学校では、「全身持久力」や「巧緻性」を高めていく必要がある。

4 今後に向けて

来年度以降、教育委員会は、体力向上に向けて各校が以下の取組を実践するよう働きかける。

(1) 体育授業の改善・充実

課題解決的な学習過程の中で、学習者用端末を効果的に活用し、自分の動きの質が向上していることを実感できるようにするなど、児童・生徒に体を動かす楽しさや喜びを味わわせる。

(2) 「一校一取組運動」の実施

体力テストの実施結果を踏まえ、運動遊び、休み時間等の効果的な活用、学校行事に向けた取組等、これまでの取組を踏まえてさらに工夫した特色ある「一校一取組運動」に取り組む。

(3) スポーツ関係団体、専門家等との連携

児童・生徒の実態に応じた運動機会の創出のために、スポーツ関係団体や専門家を外部講師として招聘し、運動への意欲を高める。(投げ方教室等)